

## 水道事業について

まず、組織・体制を抜本的に見直すべきです！

### ■料金値上げは必要ですか？

昨年12月、市は2015年度までの本市水道事業の財政状況等を予想する「財政計画」を作成・公表しました。「財政計画」において、**市は水道事業の収支状況の厳しさを強調するとともに、「浄水場の統廃合の推進、老朽施設の計画的な更新、水道管の耐震化及び鉛製給水管の早期解消などの施策の実現に膨大な投資が必要」という認識を示すことで、将来の水道料金値上げの必要性を強く示唆しています。**今後も快適に水道を利用し続けるために料金値上げが不可欠であれば、一定の値上げはやむを得ません。しかしながら本市の場合、値上げを検討する前に取り組むべき課題があります。

### ■組織・体制の抜本的見直しを！

水道事業に従事する職員一人当たりの経営指標を人口・規模等が類似する他の自治体(※)と比較すると、本市の数値は30%近く低くなります(表④参照)。これは、**他の自治体は西宮市より30%近く少ない人員で水道事業を行っている**ことを意味します。水道料金値上げを検討するのであれば、**まず人員を適正化し、運営コストの削減を図るべきです。**市は、私が指摘した内容を認め、現状の改善に取り組むことを約束しました。引き続き、今後の展開を注視すると共に、指摘・提案を続けてまいります。

※「独自の水源も有しているが、使用している水量の5割以上は他から購入している人口40万人以上の都市」という条件を満たす5市の平均値。

表④:職員一人当たりの経営指標の比較

	西宮市における 職員一人当たりの数値 (A)	他の自治体における 職員一人当たりの数値 (B)	他の自治体を1とした場合の 西宮市の数値 (A/B)
営業収益	5468万円	7461万円	0.73
有形固定資産	2億8917万円	3億9125万円	0.74
給水人口	2891人	3964人	0.73
有収水量	31万7875m <sup>3</sup>	44万7580m <sup>3</sup>	0.71

### ■諸事雑感

子育て世代の支援を目的とする「子ども・子育て支援新制度」が2015年度から実施される予定です。新制度では国が市町村に財源を支給する形で、保育所待機児童、一時預かりや病児保育の不足、小学校高学年児童の居場所の確保等の課題解決を促します。これらの課題に最前線で取り組む市の責任は重大です。制度導入を「子育てするなら西宮」に相応しいまちづくりの機会とするため、積極的な提言を行ってまいります。

## 澁谷 祐介:西宮市議会議員/三期目

- 昭和48年12月26日生まれ。B型・山羊座。
- 妻・長男・次男の四大家族。
- 市立浜脇小・浜脇中・私立明星高・京都大学経済学部卒業。
- 平成8年4月より平成16年8月まで阪急電鉄株式会社勤務。  
書店ブックファースト・アズナス(コンビニ)等、小売事業を中心にキャリアを積む。
- 平成16年11月、西宮市議会議員補欠選挙にて初当選。現在三期目。
- 好きな言葉:一利を興すは一害を除くに如かず、大道無門
- 好きな作家:司馬遼太郎、浅田次郎、黒川博行、篠田節子、山崎豊子 他多数
- 尊敬する人物:織田信長、大久保利通

■詳しい日々の活動等をブログでご覧頂けます。

<http://y-shibuya.blogzine.jp/blog/>

■市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。ご連絡は、以下までお願いします。

★e-mail:shibuya@room.ocn.ne.jp

★tel:0798-22-7895

(恐れ入りますが、不在時は、留守番電話にメッセージをお願いします。)

しづや祐介事務所:〒662-0927 西宮市久保町1-16-202 / e-mail:shibuya@room.ocn.ne.jp

西宮市議会議員

# しづや祐介

市政報告・34号×2013年8月

私たちが暮らす、  
西宮の未来のために。

浜脇小・浜脇中・明星高・京都大学卒  
元阪急電鉄(株)勤務 / 行動する政治

## TOPICS&CONTENTS

～今号の目次&内容～

### ◆一般質問のご報告/

質疑の概要

### ◆保育所待機児童問題①/

継続した取組みを！

### ◆保育所待機児童問題②/

もっと踏み込んだ対策を！

### ◆高木地区の新設校整備/

疑問点を確認しました。

### ◆水道事業/

組織・体制の抜本的見直しを！

## 6月議会のご報告

6月議会で、一般質問を行いました。

### ■質疑の項目

6月議会において、

- ①保育所待機児童対策の推進
- ②高木地区の新設小学校に関連する諸問題
- ③水道局の組織・体制の見直し

の三点を中心に質疑を行いました。以下、概要をお知らせします。

### ■質疑の概要

①:本年5月、市は「待機児童ゼロ」を発表しました。ところが実際には保育所に入りたくても入れない児童が多数存在します。こうした現状を明らかにすると共に、市の待機児童問題に対する考え方と今後の対策を確認しました。

②:高木地区の新設小学校に関連して、質問を頂くことが多い

- 新設小学校の校区問題
- 周辺小学校の校区再編問題

を中心に、市の方針を確認しました。

③:市は将来の水道料金値上げを示唆する複数の資料を作成・発表しています。しかしながら市民生活に大きく影響する値上げを検討するのであれば、**まず人員を適正化し、運営コストの削減を図るべきです。**こうした考えに基づき、水道事業を管轄する水道局の組織・体制に関する問題点を指摘しました。  
※各質疑の詳細は中面・裏面をご覧ください。